

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	都島区
学 校 名	大阪市立中野小学校
学校長名	牧野美奈子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 66 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科においては、平均正答率が大阪市平均・全国平均より約2ポイント上回る結果になった。情報の扱い方に関する事項は、全国平均を1ポイント下回ったが、他の領域は、すべて大阪市・全国平均を上回り、話す・聞くことは、大阪市平均・全国平均より約5ポイントと大きく上回った。

算数科においては、平均正答率が、大阪市平均・全国平均より約7ポイント上回る結果になった。どの領域も、大阪市・全国平均を上回り、図形領域は約16ポイントと大きく上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕話す・聞くことの領域は、全般によくできていた。また、書くことの領域は、大阪市平均・全国平均を上回っているが、平均正答率が30%に満たないので、これからも継続して書く活動に力を入れていく必要があると考える。情報の扱い方に関する事項では、情報と情報の関係を理解し関係づけができるように指導を続けていく。

〔算数〕算数科では、各学年系統立てたノートの書き方と5段階の指導をどの学級も継続して行ってきたことや、習熟度別少人数の指導を積極的に取り入れ、放課後の補習をしてきたので、数と計算や変化と関係では、その成果が見られる。図形領域でも、プログラミング学習を取り入れたり、小グループでの話し合いができており、成果が大きく表れた。データの活用については、示された数から必要な数を読み取ったり、グラフから読み取ったことを言葉と数を用いて記述したりできていないので着目点を示してふり返りしていく必要がある。

質問紙調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことと思う」という項目が全国平均を下回り、自分に自信がもてず満たされていない気持ちをもっていると考え。また、「将来の夢や目標を持っている」「読書は好きですか」という項目は大阪市・全国平均を上回っている。キャリア教育や読書好きになるような取り組みを続けている結果だと思われる。

学習活動において、話し合いにより自分の考えを深めたり広げたりすることは目標としていた80%を超え、学級会の話し合いで学校生活をよりよくしようとする児童も85%を超えており、自分たちで解決していこうという自主的・主体的な態度が育ってきている。国語や算数は、授業の内容はよくわかると答えている児童は大阪市・全国平均を上回っている。学校の授業時間以外に2時間以上勉強している児童が35%を超えていて家庭学習が身についてきている。

学校質問紙では、概ね落ち着いた環境で学習活動が行われており、児童の学習意欲もある。学習活動の中でICTを進んで活用し、特別活動を研究領域にしているので話し合いの中で合意形成や意思決定ができるような指導をよく行っている。

今後の取組(アクションプラン)

国語科の基礎・基本となる言語事項や読解力を高めるために今後も漢字学習の工夫や習熟度少人数学習をより効果的に取り入れて学習を進めていく。書くことにも力を入れ、いろいろな学習活動において振り返りを記述したり、自主学習を進めたりして自分の考えをかけるようにしていく。また、話し合う場面をどの単元でも取り入れ、友だちの意見をしっかり聞き、自分の考えを相手に伝えられる児童の育成に継続して努める。

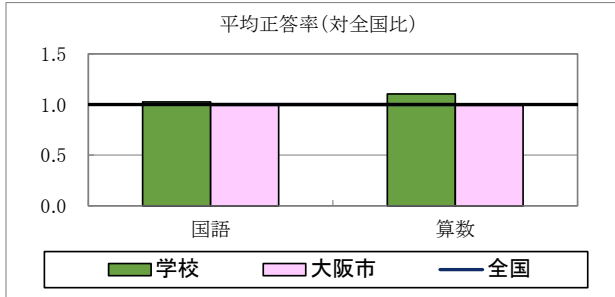
算数科は、引き続き習熟度別少人数指導を継続して進め、放課後の個別学習などで、反復練習を行っていく。データの活用の領域においては、ふり返りプリントやデジタルドリルなどを活用し、いろいろな問題に触れ、問題の解き方に慣れていく。

今年度も研究教科を特別活動にし、話し合い活動が全教科領域で生かされるよう系統立てて取り組みを進める。また、クラブ活動の研究も進めているので、異学年での話し合いを生かし、より楽しく活動できるようにしていく。また、たてわり班活動でも積極的に行動できるようにし、低学年から憧れられる高学年児童を育て、これからも学校が楽しいという児童を増やしていく。

【 全体の概要 】

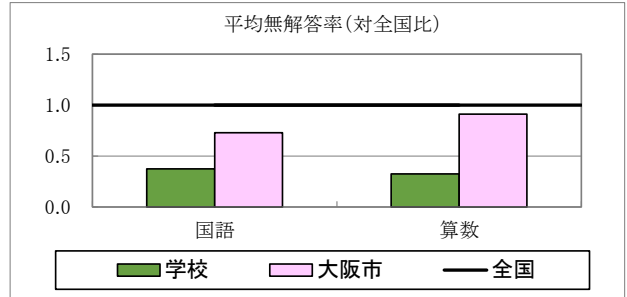
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	69	69
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



平均無解答率 (%)

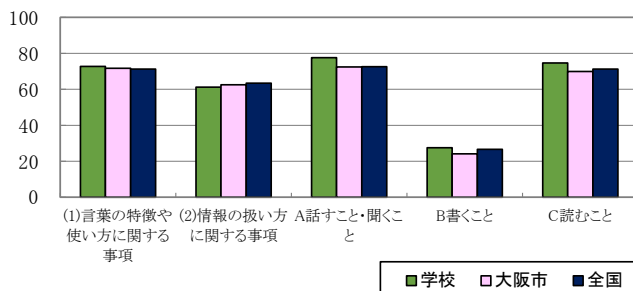
	国語	算数
学校	1.8	1.1
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



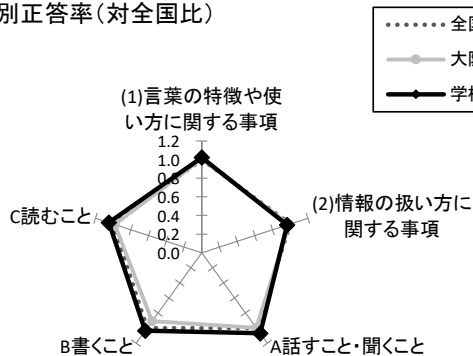
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	72.8	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	61.2	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に 関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	77.6	72.4	72.6
B 書くこと	1	27.6	24.2	26.7
C 読むこと	3	74.7	69.9	71.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



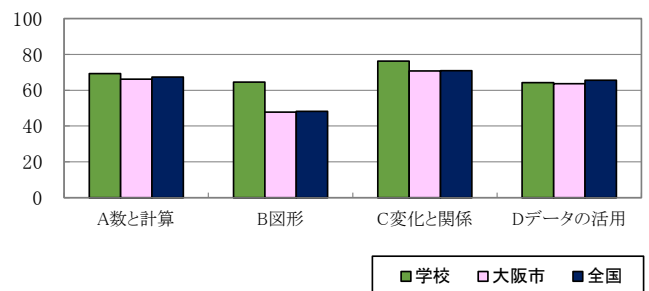
国語 領域別正答率(対全国比)



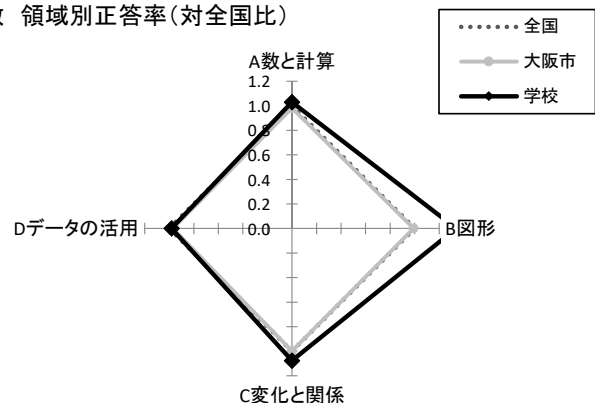
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	69.3	66.1	67.3
B 図形	4	64.5	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	76.3	70.8	70.9
D データの活用	3	64.3	63.6	65.5

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



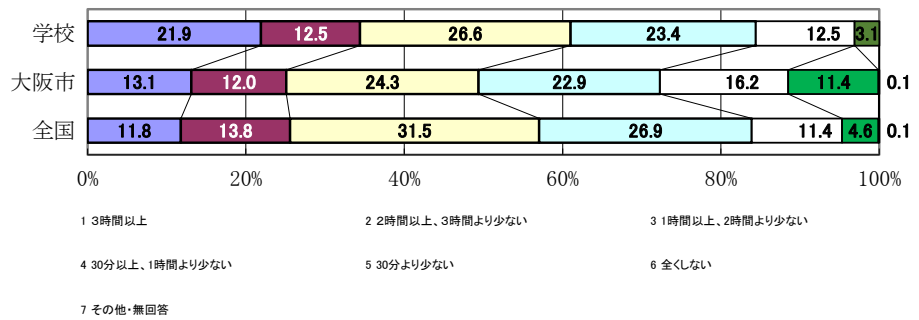
児童質問紙より

質問番号

質問事項

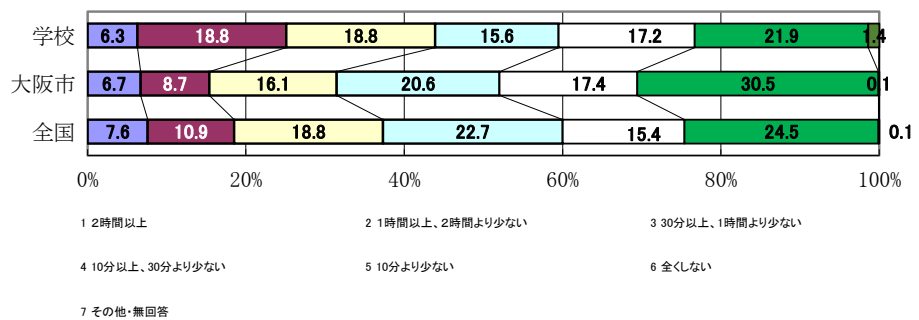
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）



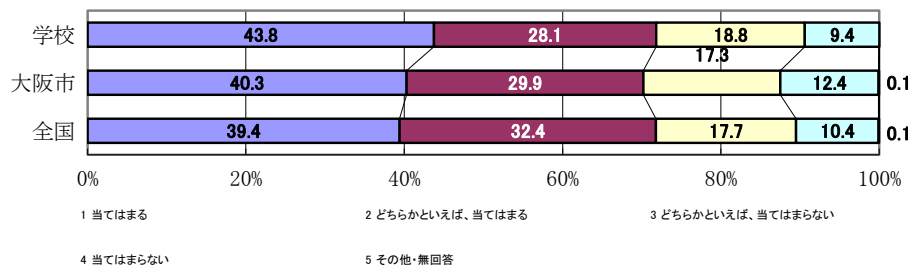
20

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）



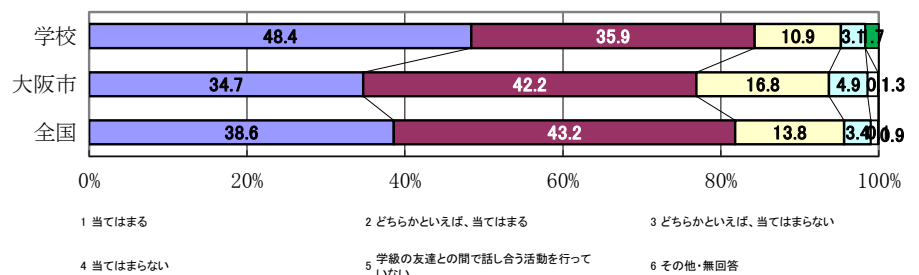
24

読書は好きですか



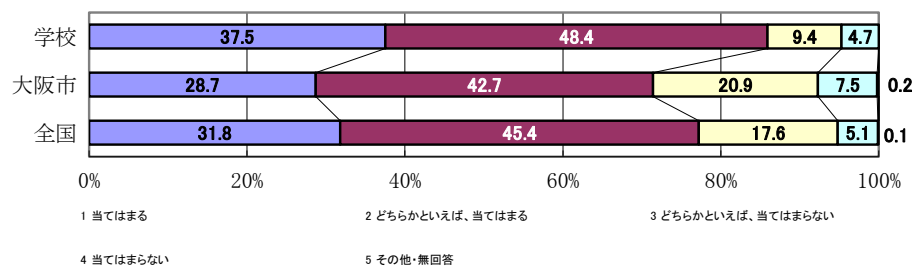
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



40

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている



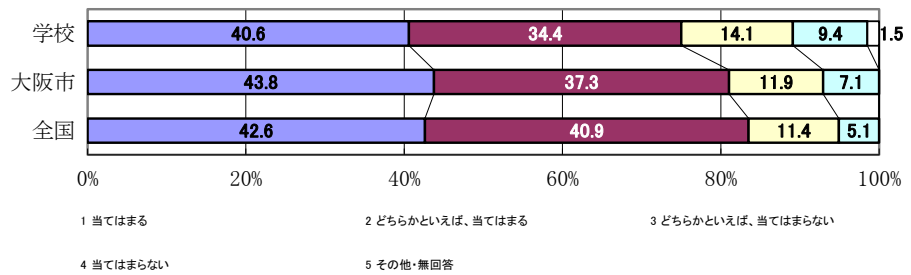
児童質問紙より

質問番号

質問事項

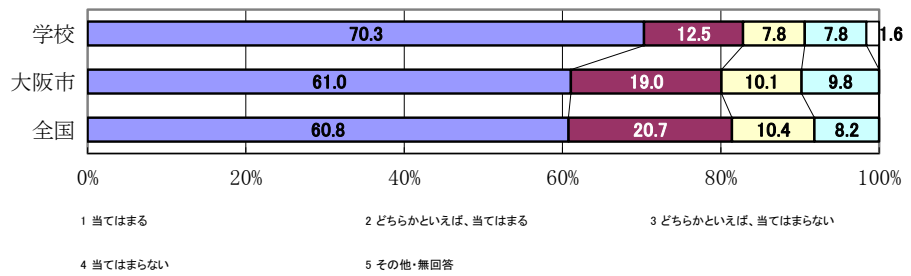
4

自分には、よいところがあると思う



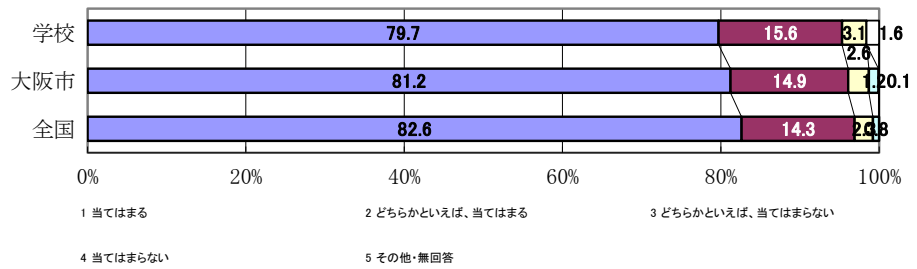
7

将来の夢や目標を持っている



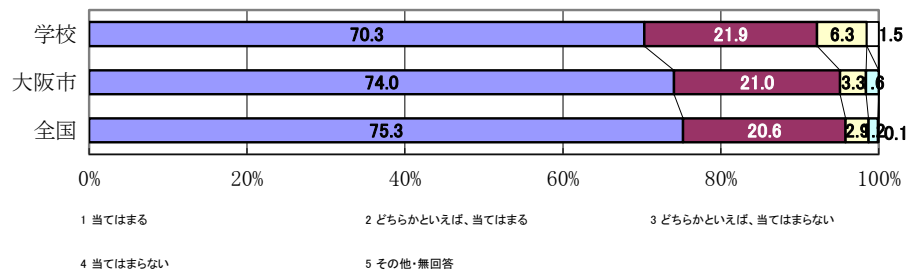
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



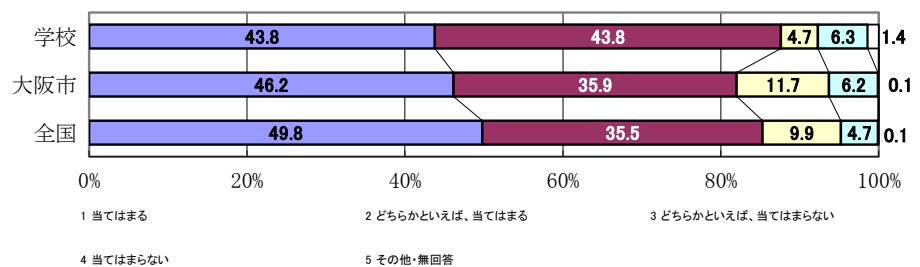
11

人の役に立つ人間になりたいと思う



12

学校に行くのは楽しいと思う



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

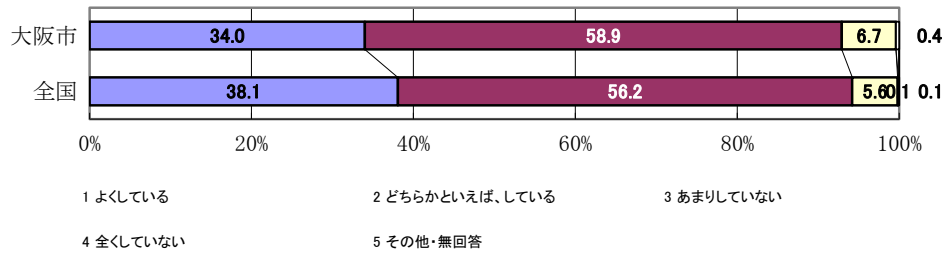
質問番号

質問事項

38

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている

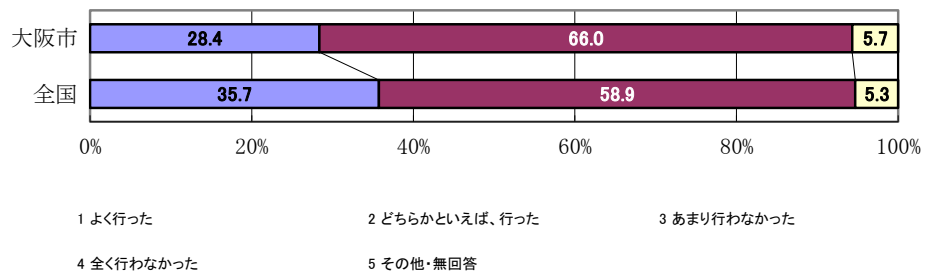
学校「よくしている」を選択



47

調査対象である第6学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動をどの程度行いましたか

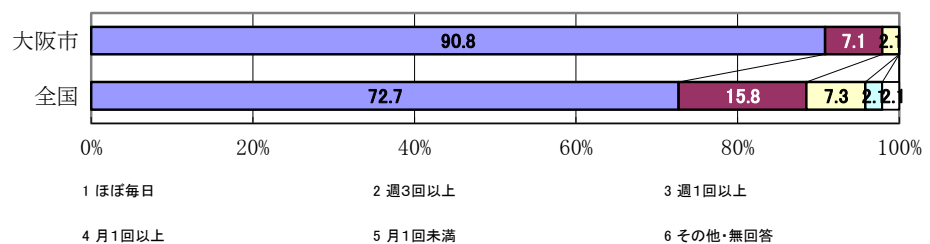
学校「よく行った」を選択



52

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

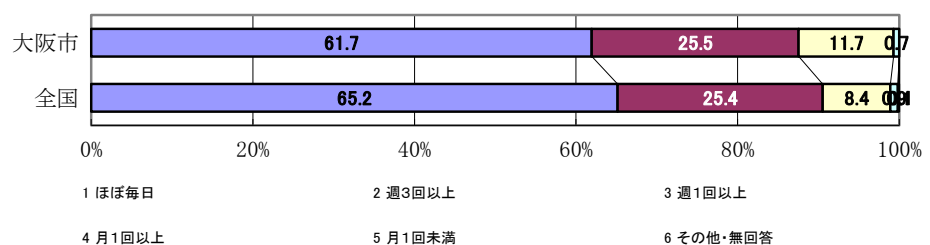
学校「ほぼ毎日」を選択



55

調査対象である第6学年の児童に対する、前年度までのICT機器の活用状況として、あなたの学校では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校「週3回以上」を選択



学校「」を選択

